

Core2Core プログラム 出張報告書

【出張者】

1. 藤枝 俊宣 (生命医科学科 武岡研究室 助教)
2. 山岸 健人 (生命医科学専攻 武岡研究室 修士2年)

【訪問先】

Istituto Italiano di Tecnologia (IIT)@SSSA

イタリア、ポンテデラ

【滞在期間】

2015年1月19日(月)～2015年1月26日(月) (6泊8日 車・機中1泊)

【概要】

本出張では、共同研究先である Istituto Italiano di Tecnologia (IIT)にて、現在共同で執筆中の特許出願および学術論文投稿に向け、必要なデータを得るための実験および執筆内容に関するディスカッションを行った。具体的な日程を以下に記す。

2015年1月19日(月)：ポンテデラに到着、翌日以降の予定を Virgilio Mattoli 博士と確認

2015年1月20日(火)：Virgilio Mattoli 博士、Francesco Greco 博士、Sudha 博士(ポスドク)、Jonathan Barsotti 氏(学生)と実験計画の打ち合わせを行った。また、Sudha 博士とともに筋電計測に用いる金スパッタ電極の作製を行った。

2015年1月21日(水)：現在開発中のナノシート型皮膚電極の皮膚上での安定性評価を行った。

2015年1月22日(木)：現在開発中のナノシート型皮膚電極を用いた筋電計測を行った。実験は、SSSA(聖アンナ大学院大学)の Sergio Tarantino 氏(学生)協力のもとで行った。

2015年1月23日(金)：Center for Micro-BioRobotics (IIT@SSSA) の Coordinator である Barbara Mazzolai 博士、Virgilio Mattoli 博士、Francesco Greco 博士に対し、日本での研究内容および訪問中の実験結果について”Roll-to-roll fabrication of conductive PEDOT:PSS nanosheets for application as skin-contact electrodes”という内容で発表した(山岸)。発表後は、現在執筆中の特許に関する打ち合わせや、今後の新たな共同研究に向けたディスカッションを行った。

2015年1月24日(土)：Francesco Greco 博士とともに現在執筆中の学術論文に関する打ち合わせを行った。

2015年1月25日(日)：日本へ向けて出発

2015年1月26日(月)：帰国

【総括】

滞在中に行った実験で執筆中の論文における主要なデータが得ることができ、共同研究成果をあげるうえで非常に有意義な出張であった。また、打ち合わせを通じて特許出願の具体的な日程が決まり、現在は出願に向けた最終段階に至っている。学术论文に関しても投稿するジャーナル等、具体的な内容が固まり、現在は原稿の作成中である。

以下に滞在中の写真を掲載する。



左から Francesco Greco 博士、山岸、
Barbara Mazzolai 博士、Virgilio
Mattoli 博士、藤枝

現在開発中のナノシート型皮膚電極
で筋電位を測定している様子